

2) 平成 27 年度 事業計画

1. 基本方針（理事長：長谷川 演）

長期の安心から解き放たれ？期待と不安のためか様々なトコロが少しずつ動き始めた感があります。

社会のためと言う大義に向かう自主的なアクションが明確に伝わる各事業の思いをまとめ、より表現してゆきます。

最大のテーマはメンバーの増強。

一気にとはいかない積み重ねのエネルギーは、コミュニケーション豊かにひとりひとり、確実に話してゆく必要があるでしょう。

社会の変化と共にデザインアワード、プロダクトアワードも目的、価値観を次のステップへと見据える、新しい存在感を見せる SODA 事業もより広く濃い内容を求め、フレームの進化が求められそうです。

昨年、アジア諸国との著しい温度差を感じた深圳（シンセン）でのデザインミーティングに続き国際委員会、コミュニケーション委員会の連携でできるコンテンツも一考できそうです。各シーンが「Re=再」に続き「Reset リセット」。

もう一度原点に帰り再構築してゆく年にしましょう。

2. 主要事業計画の概要

(1) デザイン賞委員会（委員長：笠原英里子）

1. JCD デザインアワード 2015

2月9日 JCD デザイン賞委員会／27年度デザイン賞委員会スタート

- ・1次、2次審査員検討
- ・1次審査員決定
- ・六耀社とのスケジュール調整
- ・応募概要の内容検討

3月中旬 JCD デザイン賞委員会

- ・2次審査員の決定
- ・メディアへ告知依頼

4月1日 公募サイトアップ

4月1日～5月22日 応募期間

5月末 1次審査員へ審査方法を伝達

6月1日～8日 1次審査期間（インターネット審査）

6月9日～12日 JCD デザイン賞委員会

- ・BEST100 決定

6月15日 応募者へ結果通知

	六耀社へ BEST100 通知
6 月 15 日～26 日	2 次審査パネル製作期間
7 月 4 日	2 次公開審査会 東京デザインセンターに於いて各賞（大賞 1 点、金賞 6 点前後、銀賞 10 点前後、審査員賞数点、新人賞数点、特別賞数点） 年鑑掲載用の写真選定
7 月 6 日	受賞者に結果通知 HP にて結果公開 六耀社・メディアへ結果通知
8 月末	JCD デザイン賞委員会 ・贈賞式内容検討
11 月中旬	JCD デザインアワード 2015 贈賞式 デザインメッセージ 2015

※募集対象： 2014 年 5 月 1 日～2015 年 4 月 30 日に実現し、機能している作品
を国内外から広く募集

※カテゴリー： 1. ショップ空間 2. 食空間 3. 大規模商空間 4. サービス・エンターテイメント空間 5. 文化・公共コミュニケーション空間
6. 公共生活空間

※今後の検討事項： メディアへの掲載依頼
メディアへの贈賞式出席ご案内
海外（香港、台湾、中国）への応募案内、呼びかけ

2. JAPAN SHOP 2015

デザイン賞委員会とコミュニケーション委員会の合同事業

3 月～3 月 6 日 東京ビッグサイト東 4 ホールに於いて、JCD デザインアワード 2014 パネル展示及びモニターによる作品、審査風景映像展示

(2) コミュニケーション委員会（委員長： 窪田 茂）

昨年度より、改めて広報委員会を設置し、JCD の PR 活動を積極的に行う委員会として立ち上げ、今までの SHOKANKYO を発行していた委員会は出版委員会と名前を替えました。

■シンポジウム委員会（委員長 窪田茂）

SECTION57 の開催

昨年度 3 月 8 日、若手彫刻家の名和晃平氏をお招きし、「アートからデザイン、建築へ」というテーマでシンポジウム開催し、大盛況となりました。

本年度は、しかるべき開催日を再検討し、インテリアデザインの世界に新たなる可能性を感じられるようなシンポジウムを開催したい。

■出版委員会（委員長 古川紳太）

SHOKANKYO083 の発行

SHOKANKYO は JCD の活動を JCD メンバーに報告するだけでなく、広報活動の一環として使えるように、内容の充実、発行部数の増加、様々な人が見れるような環境を検討したい。

■広報委員会（委員長 飯島直樹）

JCD の認知度を向上させる事を目的に活動し、HP、SNS（FACEBOOK など）、雑誌掲載などを活用し、日々の活動、各支部の活動を、JCD メンバーに限らず一般の方々にも伝わるようにしていきたい。

また、JCD アワードの国内に限らず、世界での認知度の向上を進め、アワードの応募数の増加、アワードの信頼性の向上、アワードの雑誌への掲載などに繋げていきたい。

その結果として、会員の増強に繋げていく事を目標とする。

(3) 国際委員会（委員長：武石正宣）

国際委員会は、この5年間をかけてイーストギャザリング (EG) をスタート、日本、香港、韓国の三つの参加国の持ち回りによる開催を経て、国際社会の中で孤立しない道を探してきました。

しかし、平成26年度に行われる予定の韓国における開催がなくなり、EGとして次にどのような方法を取るのかを模索していましたが、今年の終わりに APSDA の前会長であるフランス氏が来日し、長谷川理事長と会談し、JCD の中では脱退して十数年を経ていると思われる APSDA から再度参加をしてほしい要請と、もともと JCD はファウンダー国の一つであり、脱退をしている認識が無い事を話されました。

現在の APSDA の現状を知るべく、昨年末に行われた深祁インテリアデザイン会議の中での APSDA チェアマンミーティングに理事長と参加し、今後の JCD の選択の中で APSDA に対する再参加はあるのではないかと考えました。

今年度は、シンガポールで三月に開催されたメゾン、エ、オブジェの中での APSDA チェアマンミーティングに参加し、APSDA の中での JCD のあり方を考える年度にしたいと考えています。

今わかっている範囲では、来年度に APSDA の新理事長国のオーストラリアでの大会がある事、先には日本での APSDA 大会開催の可能性も考えています。

また EG に関しては、アジアパシフィックに拮げず、アジアイースト三カ国くらいで柔らかく開催しないかと香港のチェアマンからも打診があり、これからの話ですが今年十月位に台湾のインテリアデザイン協会に話をし、日本、香港、台湾の三カ国による新 EG 開催、参加するかも知れません。

今年度の国際委員会は、そういった新しい枠組みの中で JCD が何をするのか、出来るの

かを考えて行きたい年度にしたいと思います。

(4) 財務委員会（委員長：大道寺祥司）

27年度予算は、事業活動収入 3,896 万円、事業活動支出 3,663 万円にて、233 万円の黒字収支計画となります。

内訳としては、本部 203 万円の黒字、9 支部合計で 30 万円の黒字です。

この通りの計画で行きますと長年累損続きだった本部の累損が 26 年度でやっと黒になる見込みで、少し余裕ができます。また、期末における全体の留保金は、26 年度決算が予算通りであれば 1,000 万円の台となります。

事業活動収入において、会費収入は会員数が若干増加したので昨年度予算より 83 万増。事業収入は総会収入が地方開催では各種イベント開催の参加費で 80 万増、デザインアワードの応募数が 26 年度実績増であったので 27 年度は 90 万増、他事業と相殺して全体で昨年度予算より 260 万円増の予算としています。

事業活動支出においては、昨年度予算に比べ増額が大きいところではデザインアワード実行費が 186 万円増、総会費支出が 99 万円増、研究会実行費が 79 万円増、soda 活動費 45 万円増、講習会費 32 万円増です。逆に減額は名簿発行費が追補版ですので 44 万円から 10 万円と 33 万円減です。事業活動支出では昨年度予算より合計 423 万円増と大幅な増予算を組みましたので各事業の活性化のために活用をよろしくお願いいたします。

年々減少の一途でありました会員数の減もこの 1 年間は歯止めがかかり若干ですが増をはかることができ、会費収入が昨年度予算より 83 万円増の予算を立てることができました。会費が事業活動の主たる源泉ですので、更なる会員増強を図り、収入を増やさないかぎりこれから大きな事業は望めません。そのためには留保金の活用方法なども考えていく必要があるかと思えます。

(5) 業務委員会（委員長：星 明臣）

近年の業務委員会の活動は、以下の 3 委員会活動に集約されています。

1. Soda 委員会 商店建築誌に掲載されるなど「JCD の社会貢献」活動として認知されてきました。従前のワークショップ活動のほか、四国支部が計画中のワークショップのサポートを予定しています。各支部の地域活動のツールに役立てば本望です。他に、ルーツの「六行会」や、関西支部「大阪住まい情報センター」で定例化されつつある「親子体験セミナー」などのタイアップ事業活動を行います。より認知度を高める広報活動に一層尽力します。

2. 賛助委員会 賛助会員各社と正会員とのコミュニケーションを通して、相互のメリットを図る。ノミネート件数・投票率の向上など「Products

of the year」の活性化を図る。

3. 功労者選考委員会 JCD 特別功労賞、支部功労賞、名誉会員、評議員などの適正な推挙を行います。「叙勲」に関する対応は、当委員会の領域を超えるもので、この対応は難しいと思います。

1. Soda 委員会（委員長：新藤 力）

今年度も出前授業形式のワークショップを中心に、様々なプログラムにチャレンジしたいと考えています。前期は 7/11(土)杉並区立和田小学校で土曜日授業、7/18(土)「六行会チルドレンズフェスティバル 2015」にて昨年に続き“縁日”のデザイン・制作のサポート及び今年度の試みとして Soda 屋台の出店、7/19(日)は大阪で大阪市住まい情報センターとのタイアップ事業が決定しています。引き続き定点校でのワークショップの実施、新規校の開拓、支部活動の支援に努めたいと考えています。秋には四国支部主催でワークショップ開催の準備が進んでおり、とりわけこれまで出前授業の実施経験のない地区での開催を目したいと思います。ここ数年の懸案である品川区の手話で学ぶ学校「明晴学園」でのワークショップ、「静岡市こどもクリエイティブタウン“ま・あ・る”」でのワークショップの実現に取り組みたいと思います。また、これまでの活動を総括した冊子をまとめたとも考えています。

Soda 活動は正会員、賛助会員の皆様のご協力で成り立っています。本物の素材に触れた瞬間に弾け飛ぶ子供たちの好奇心、創造して楽しむ子供たちの笑顔、見に来てください。

2. 賛助委員会（委員長：森川 一）

今年度も引き続き正会員と賛助会員のコミュニケーションを深める施策を立案、推進いたします。

具体的活動としては

- ①各支部単位での相互コミュニケーション実施のためのサポート
最新情報での各賛助会員の本部・各支部の連絡者名簿のメンテナンスを随時実施します。
- ②「JCD Product of the year 2016」の実施。
10 年度目の節目として、更なる認知度 UP を図ります。
過去 9 回実施して課題となった
 - 引き続き正会員の投票率の向上
 - 新しい賛助会員の積極参加を図るために本年度の課題も踏まえ、各支部長様からもアイデアを頂きながら推進したいと考えます。
- ③賛助会員拡大の為の諸方策の立案と実施サポート
正会員様と賛助会員双方のメリットがでるようお互いの交流を増やし情報交換による紹

介、勧誘の更なる推進を両会員で積極的に行うことにより会員拡大へつなぎたいと思います。入会実績からも正会員様からの日頃の仕事の繋がり、情報発信のお力添えが大きく効果を上げておりますので引き続きお願いしたいと思います。

これらの計画を更に拡大・充実するために、各支部賛助委員会を活性化していただき、支部単位での更なる交流を深めていただきたいと思います。

また、これらの活動を通じ、正会員・賛助会員の双方のメリットを明確化さらに拡充し、新規正会員・賛助会員の拡大につなげていきたいと思います。

本年度も前委員長の考え方を継続して行いたいと存じますので正会員・賛助会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

3. 功労者選考委員会（委員長：芝田良治）

■活動主旨

当該委員会は、平成 27（2015）年度委員会主担業務として、一般社団法人日本商環境デザイン協会、特別功労賞表彰規定その他、JCD 定款・施行細則に則り、正会員・支部長からの候補者推薦を基に、平成 27（2015）年度 JCD 特別功労賞・支部功労賞候補者、名誉会員候補者、評議員・顧問・参与各役職候補者等の募集・資格審査・貢献度確認・候補者推挙等を推進し、平成 27（2015）年度末理事会において、理事長宛“委員会答申/前記候補者推挙”を行う。

□委員会構成

2015 年度委員構成は第 28 期中の為、期首 2014 年度委託委員が継続就任する。

委員氏名/役職/所属支部：小田秀樹/理事・支部長/関東支部、小坂竜/副理事長/関東支部、白井進/副理事長/関西支部、大道寺祥司/理事・財務委員長/関東支部、太細通/専務理事/関東支部、星明臣/理事・業務委員長/関東支部、山田悦央/評議員/関西支部

計 7 名（注：副理事長・専務理事は表彰規定の指名者）

□支部連携・情報集約

当該委員会活動に必要な情報入手の為、支部長会議を筆頭に、全国各支部イベント機会に積極的に参加し、各支部における候補者並びに候補者予備軍各位の活動実態把握、実績・貢献度内容の確認、等の詳細情報の収集に努め、誤謬無き、適正な候補者人選に努める。

□諸経費

前記活動に関わる経費は、慣例上本部経費にて処理し、会合時の該当委員旅費等、当該委員会独自の予算化はこれを行わない。

□主担外業務に関して

JCD 正会員に対する社会的認識・地位向上の一環として、当該委員中、経験豊富な委員による大臣表彰/受賞実績や手順・情報入手等の共有化・知識提供への環境整備を行う。今年度

の具体的活動として、前記知識保有者の適切な情報提供機会（三役会・業務委員会・支部長会議・プロジェクト委員会、等への派遣・参加、事務局への指示、等）への助言・協力を、“主担業務に影響を及ぼさない範囲に限定”し、参加・協力する。その際の必要経費は、参加要請委員会他予算にて処理する。

(6) 支部長会議（議長：加藤博正）

今年度の全国支部長会議は、11月に行われる理事会に先立ち同日に支部長会議を行い、理事会で論議されない議題を題材として討議し、その結論を理事会に議題として加える。昨年は、JCDの広報活動であり、それぞれの支部から意見を持ち寄り論議し、それを理事会に議題として提案した。

今期のテーマは、JCDを支える重要なテーマとして各支部の意見を持ち寄り論議を行う事にする。

(7) 支部事業

北海道支部（支部長：高橋 恵）

今年度の活動方針

「デザインにおける社会貢献を軸に、参加してもらえる活動・仲間づくり」

活動内容

2015年4月16日（木）	北海道支部総会…収支報告、活動計画、予算案承認、懇親会 等
2015年5月8日（金）	5月運営会議…セミナー、工場見学の準備 等
2015年6月3日（水）	6月運営会議、セミナー …賛助会員企業によるセミナー、工場見学計画
2015年7月2日（水）	7月運営会議…工場見学の準備、SDW計画等
2015年8月6日（水）	8月運営会議…工場見学の準備、SDW計画 等
2015年8月下旬（土日）	工場見学
2015年9月2日（水）	9月運営会議…工場見学報告、SDWの準備 等
2015年10月7日（水）	10月運営会議…SDWの準備、soda準備、Xmas計画 等
2015年10月下旬	SAPPORO DESIGN WEEK…JCD北海道デザインアワード
2015年11月4日（水）	11月運営会議…SDWの報告、soda準備、Xmas準備 等
2015年12月上旬	soda 桑園小学校1
2015年12月2日（水）	12月運営会議…soda報告、Xmas準備 等
2015年12月中旬	Design Xmas Party
2016年1月13日（水）	1月運営会議…Xmasパーティ報告等
2016年2月3日（水）	2月運営会議、セミナー…賛助会員企業によるセミナー等
2016年3月4日（水）	3月運営会議…収支状況の報告、支部総会計画 等
2016年3月下旬	決算準備

収支状況の報告、予算案作成、総会準備 等

東北支部（支部長：阿部秀夫）

平成 27 年度の活動方針は、4 年前の震災からの復興に力を注ぐべく、消沈しがちな会員同士の親睦及び情報交換に集中して取り組む必要があり、地区ごとの結束、並びに各地区同士のコミュニケーションを図るべく活動したい。

H27/05/中旬：第一回東北支部役員会議

H27/06/末　：復興報告懇親会　開催予定

H27/07/中旬：東北支部通常総会を青森地区にて開催予定

- ・地区長会議
- ・通常総会
- ・賛助会企業アピール
- ・講師によるディスカッション
- ・震災後の復興状況確認
- ・懇親会

H27/08/中旬：被災地復興状況視察

H27/09/中旬：山形地区交流懇親会開催

H27/11/中旬：秋田地区交流懇親会開催

H27/02/中旬：賀詞交換会開催

各地区事業計画

■ 青森地区

今年こそ、支部総会を青森にて開催できるよう、がんばります。

■ 岩手地区

今のところありません。

■ 秋田地区

支部に準じて活動予定。

■ 宮城地区

震災後の仕事に追われ、協会活動を積極的に行えず、会員の協会へ対する関心が薄れつつあります。今年こそ、協会活動のエンジンを再始動させていきたいと考えております。

■ 山形地区

前半は仕事に追われており活動は考えておりません。後半は JCD の会員の山形地区における啓蒙活動を積極的に行いたいと考えております。

地区会員は現在の 2 名より 4 名に増やすべく頑張りたいと考えております。

■ 福島地区

休眠会員の復活と新規会員の開拓、特に若い人材の発掘に努力したいと思います。福島地区に固視せず、宮城・山形の会員の方々、賛助会員の方々、サブスタッフを含め交流できればと思います。結果、互いのクオリティを高めあえればと思います。

■ 会員への情報発信を充実させ会員相互のコミュニケーションを促進させる

関東支部のHP・Face Book を活用してイベント情報の発信を充実させ、会員相互の交流を図ると共に会員増強の為、同業者や一般の方にも JCD の活動を発信し、イベントに参加者を集い会員獲得に、結びつける。

■ 研究セミナー委員会：高村委員長

※“月例会”と呼んでいた研究セミナー会も、“トーク”として不定期ではあるが2ヶ月に1回のペースで開催し、様々なコミュニケーションや研究会としての様相がでてきたと思われる。

来期に関しては、もっと若い世代が興味を引く「テーマや人物」に焦点を当てる事で JCD として認知度を上げ、少しずつ広報の一端を担える様にして行きたいと考える。

会場候補が賛助会員のショールームやデザイナーの事務所、デザインしたお店など、会員の方からも情報が発信できたり、臨場感が伝わるような構成で、人々の興味を引く様に行きたい。

具体的な場所として、オカムラ製作所ショールーム、グラスルーチェショールームに加え、ミネルバショールームも候補としてあげている。

4月に「福生米軍ハウスのリノベーション」関連トークを皮切りに、6月・7月・8月&9月、9月・11月と、年末年始を挟み2月・3月を開催予定とする。

■ 支部賛助委員会：品川委員長

※原則、月1回の委員会を開催して、下記掲載の活動目標の推進を図る。

- 1) 関東支部正会員及び賛助会員相互のコミュニケーションの活性化を図る。
- 2) 賛助会員の意見を集約し、協会に意見具申する。
- 3) 交流を促進するための親睦イベントを企画する。
- 4) 関東支部の他委員会と連携して、関東支部のイベントのサポートにあたる。

■ 省エネ CO2 削減委員会：芝田委員長

※支部会員宛、セミナー・イベントの協賛・案内・勧誘

- 1) 昨年に引き続き“LED 照明シンポジウム 2015/JIEDS LED 照明推進協議会 主催”特別優待枠 10 名を確保いただいた。今年度より、JCD は正式に後援団体化。関東支部会員・役員宛に E メール/事務局発信・FaceBook 活用
- 2) セミナー・ミニシンポジウムの自主企画立案・実施
“当業界に於いて、関連するメーカー・団体などの面白く興味を引く施設や SR 見学とミニシンポジウムの組み合わせ“により、特命推進副委員長を任命し、面白く為になるイベントの自主企画を図る。
- 3) 上記イベントに関する予算は、収支均衡を目指し、特に定めない。

※支部会員宛 情報発信/メール発信

- 1) 前年に引き続き、関連情報の集約・発信を行なう。

当該業界情報の枠を拡大し、エコ技術・商材・商品情報以外の先行する住宅・オフィスに関する情報も含め、集約・発信を行なう。

- 2) JCD 賛助会員企業の該当商品・商材・技術・取り組み姿勢等の情報提供を求め、賛助会員企業とのコ・ワーキング体制の構築を図る。

■広報委員会：古川委員長

※年3回の発行を予定。

今期は賛助会員からの広告収入と支部予算調整により印刷物の発行を試みる、

広告予定金額は5千円以内として、各号4ページ増やし2回に分けて賛助会員を掲載する。

- 1) 6月位に、総会特集として400部の印刷発刊をする。
- 2) 9月位に、関東支部の前期報告として400部の印刷発刊をする。
- 3) 3月位に、関東支部の後期報告として400部の印刷発刊をする。

■メディア委員会：吉田委員長

- 1) 関東支部のHPの運用スタイルを一新する為に、全般的にリニューアルする。
- 2) TOPページの項目を修正及び変更して、イベント更新をバックナンバーにて行なう。
- 3) JCD 関東 Face book ページを新たに開設し、各委員会や支部会員が書き込み出来る様にする。
- 4) 今後のブログページは、支部の運用ページに活用して行く。
- 5) 支部会員HPとのリンク数を積極的に増やし活性化を促す。
- 6) 支部賛助会員HPを直接リンクに変更し、アクセスしやすくする。
- 7) メールマガジンの配信は、インフォメーション時やバックナンバー更新時のみとする。

■交流委員会：折原委員長

- 1) 交流委員会を定期的に招集し、正会員及び賛助会員のコミュニケーションを推進させる。

- 2) 夏・冬のパーティー（8月初旬と12月初旬）の企画及び開催

会員同士、そして会員と賛助会員の交流を一層深める事で、業界全体の活性化を促す。また、パーティーを通じて新規会員の獲得の一役に成る様に、あまり予算をかけず、魅力有るパーティーシーンを構築する事を目標とする。

■特別委員会：星委員長

- 1) 引き続き「支部研修旅行」の計画及び実施

- 2) 「会友」制度の新設

JCD 会員として長く活動されていたが、企業を退職されたとか、年齢的に退会した等、そのまま縁が切れてしまうのは、大変残念な事です。

関西支部の前例を参考に、支部が催すイベントなどへ「会友」として参加を認め、継続的な交流を図りたい。

会員との違いを整理して、支部「会友」制度の新設を検討したいと考えております。

中部支部（支部長：不破淳二）

● 活動方針

昨年よりスタートした新体制による、新しい事業活動、交流活動の活性化によりダイナミックな支部運営を行う。また、中部圏という特性、事情を考慮した新規事業を通して中部圏の空間デザイン関係者の支援と会員増強も一層図っていききたい。

①事業活動

JCD 中部支部ヤングデザインアワードの発展（地域若手デザイナー支援）
中部デザイン団体協議会との協同事業
DSA、SDA との協同事業
中部支部独自の事業など

②交流活動の活性化

正会員間、正会員と賛助会員の交流活動の一層の促進
定例会議の開催（正会員と賛助会合同）

③会員確保活動

JCD 中部支部ヤングデザインアワード開催による会員確保
他団体と共同したデザインアワード開催による会員確保

● 主な活動計画

① 中部支部の主な事業

<2015 年>

- 6 月 中部支部総会（総会、基調講演、懇親交流会）
- 8 月 親睦パーティ（ビアパーティ）
- 12 月 親睦パーティ（忘年会）

<2016 年>

- 1 月 親睦パーティ（新年会）
- 2 月 「デザイントリプレックス 12」
 - ・ DSA、SDA との三団体によるシンポジウム | 日本の空間デザイン展
- 2 月 「北陸デザインフォーラム」
 - ・ 北陸地区での DSA、SDA 三団体シンポジウム | 日本の空間デザイン展
- 2 月 「JCD 中部支部ヤングデザインアワード' 15」
 - ・ 展覧会、贈賞式他

②その他関連事業（中部デザイン団体協議会／CCDO との協同事業）

- ・ 展覧会、パーティなどの協同事業
- ・ CCDO アワード、ナイトトークなどの協同事業
- ・ 名古屋商工会議所＋中部デザイン団体協議会（CCDO）デザインなんでも相談
 - 無料相談（商環境デザイン担当）

- 「メッセナゴヤ」(11月) 名商+CCDO
デザイン何でも相談「それはデザイナーに聞け」
- デザインセミナー

関西支部 (支部長：長町志穂)

【組織検討委員会】 会員増強の強化策の検討

正会員増強の為の策を検討。

昨年度に引き続き会員増強策を検討します。(ジュニア・シニア等)

委員長：東 潤一郎 相談役：金沢明彦

【研究委員会】 デザインによる社会貢献 / 会員のスキルアップ

・SODA 事業 (27年度は7月19日(日)に決定。於：住まい情報センター)

(大阪デザインサロンとの連携 JCD デザインサロンの継続)

委員長：中村裕輔 相談役：末浪伸浩

【広報委員会】 会員相互における情報の共有化 / JCD の見える化

年1回の JCD・KANSAI の発行

Facebook のさらなる活用 HP の強化 他 JCD の広報活動や情報アーカイブづくり全般の実施。

委員長：大東俊也 副委員長：岡島 昇 相談役：白井 進

【交流委員会】 会員の親睦を図る交流会開催

支部総会および 夏のビヤパーティー及び年末のクリスマスパーティーの開催

委員長：浦田恭資 相談役：衣笠和宏

【新・賛助委員会】 賛助会員との相互協力関係の構築

「JCD 賛助サロン」の検討

委員長：山田悦央 副委員長：賛助会員の中から調整中 担当理事：衣笠和宏

【デザイン団体連携委員会】 各デザイン団体との関係強化

大阪デザイン団体との交流を通じてのデザインビジネスの積極的な参加、及び関西のまちづくりに対する取組みへの組織づくり。

「大阪デザインサロン」「関西学生シンポジウム」

「日本の空間デザイン展」「2014年度の店舗ビフォーアフターと同様の企画」

委員長：松本浩作 相談役：山田悦央

中国支部 (支部長：深田勝哉)

27年度の中国支部の活動方針は26年度に引き続き、「地域に必要とされるデザイン」をテーマに一年間活動する予定です。

会員が活動しやすい環境を作り、賛助会員と多くの会員が参加できるようにしたいと考えています。

中心となっている広島、岡山だけでなく中国5県全県での活動を引きつづき強化し、各地域とのかかわりを明確にし、地域に

にとってなくてはならない団体としてあり続けたいと考えています。

そして、会員相互のコミュニケーション、また若い新会員を増やし、新しい組織として活気ある支部創りを目標にしています。

■ 27年度活動内容

○組織改革

今まで活動の中心となっている会員と、次の世代を担っていく若い会員で新たな組織を作り、若い会員が活動しやすい環境づくりを目指した組織を、再構築したいと考えています。

○地域活動

岡山、広島で続けてきているデザインイベント「広島デザインデイズ」をさらにバージョンアップし、各地元との交流、そして、岡山・広島を中心とするデザイン団体、建築・デザイン系の大学、専門学校、地元商店連合会など参加者も増やし、今後さらにコミュニケーションを図りながら地元根付いたデザイン活動にしたいと考えます。

○例会活動

今までの例会では、本部からの連絡事項、支部内の審議事項、活動予定打ち合わせなど、必要最小限の内容でした。これからは、毎回新しいプログラムを検討しデザインを中心としたスタディーセッションをしたいと思っています。デザインの考え方をぶつけ合う場として盛り上げればと考えています。

○親睦活動

中国支部内での会員相互の親睦を目的とし、イベントの計画をします。

通年：例会後、各地での懇親会、デザインセミナー、賛助階ミニセミナー

秋：デザインツアー、国内外を問わず新しいデザインに触れる旅を計画します。

夏：デザイナー交流会「鍋塾」の計画。

○活動予定

4月 JCD中国支部総会、第一回支部例会 27年度事業計画発表、委員会編成
／岡山市内

5月 第一回 2015年 広島デザインウィーク準備委員会／広島市内
27年度定時総会／高松市内

6月 第二回 JCD中国支部例会（総会報告）／福山市内
第二回 2015年 広島デザインウィーク準備委員会／広島市内

7月 第三回 2015年 広島デザインウィーク準備委員会／広島市内

8月 第三回 JCD中国支部例会 中国支部 デザインセミナー／広島市内
第四回 2015年 広島デザインウィーク準備委員会／広島市内

9月 第五回 2015年 広島デザインウィーク準備委員会／広島市内

10月 第四回 JCD中国支部例会／岡山市内

- 11月 2015年 広島デザインウイーク3日間／広島市内
 四国支部合同デザインツアー（新しいデザインに触れる旅）／未定
- 12月 第五回 JCD中国支部例会、中国支部大忘年会&クリスマスパーティー／福
 山市内
- 2月 第六回 JCD中国支部例会 中国支部 デザイナー交流会「鍋塾」開催
 ／島根県

四国支部（支部長：香川眞二）

■活動内容

- 4月 4/4（土）例会、花見懇談会／担当：運営委員会
 H27年度四国総会準備実行委員会
 会員レポート
- 5月 委員長会（5月中旬）
 H27年度四国総会準備実行委員会
 H27年度定例理事会・定時総会
 本部：5/31（日）平成27年定例理事会・定時総会
- 6月 例会／担当：運営委員会、交流委員会
 会員レポート
- 7月 委員長会
- 8月 例会／担当：運営委員会、交流委員会
 松山市内において愛媛会員との交流例会
 会員レポート
 他団体との交流会予定（SDAさん検討中）
- 9月 委員長会／担当：研究開発委員会
 SODA事業開催（候補：第一小学校（案））
 瀬戸内生活工芸祭2015後援
- 10月 例会 他支部との合同例会／担当：運営委員会
 研修交流会予定：沖縄（検討中）⇒沖縄支部・中国支部
 ミラノサローネレポート
 デザインアワードパネル展開催
 デザイン協会フリーマーケット参加（検討中）
- 11月 委員長会／担当：研究開発委員会
 SODA事業開催（候補：第一小学校（案））
 香川県デザイン協会合同研修（検討中）
- 12月 12/18（金）例会（忘年会）／担当：運営委員会
 会員レポート
 他団体との交流会予定（SDAさん検討中）
- 1月 委員長会（新年会）
 専門学校穴吹デザインカレッジ2015年デザイン展後援

- 2月 例会 他支部との合同例会／担当：運営委員会
 海外研修予定（検討中）⇒香港、マカオ
 会員レポート
 香川県デザイン協会合同研修（検討中）
- 3月 委員長会

- 現会員のレベルアップ及び新規会員の増員
- SODA 事業の展開検討⇒『高松市立第一小学校（案）』
- 『海外研修予定』 ---他支部との協議
- 『他団体との交流会』 --- S D A さんとの交流会

九州支部（支部長：原田啓二）

- 4月～毎月 月例会開催
- 5月 FUKUOKA デザインリーグ理事会及び総会参加
- 5月 支部総会出席
- 6月 支部レクリエーション開催：有田焼製作体験
- 8月 デザインスクールキャラバン委員会参加
- 8月 NPO 法人「町づくり支援機構」合同事業会議
- 10月～3月 「町づくり支援機構」共同事業開催
 「九州デザイナー学院専門授業」新天町広場プランニング
- 11月 JCD デザインアワード展開催（SDA 共同開催）
- 12月 九州支部忘年会
- 1月 九州支部新年会

九州支部は、NPO 法人「FUKUOKA デザインリーグ」への参加は続けながら社会貢献・勉強会など継続してまいります。

専門学校九州デザイナー学院との「職業専門課程」の提携を軸に、NPO 法人「町づくり支援機構」との共同事業など、新しい取組みも模索してまいります。

又、最大の課題の会員増強も、早急に対処しなければなりません。

その為には、魅力有る JCD 九州支部づくりをテーマに、会員一丸となって取り組んでまいります。

沖縄支部（支部長：山里健市）

■ 27年度の方針について

- 1) 支部会員内の役割分担を明確にして、効率よく最大の成果をあげられるよう議論し、計画した活動を実行していけるように協力しあい、JCD 沖縄支部の知名度向上（交流委員会）社会的貢献（SODA 委員会）に向けて取り組んでいきたいと思ひます。

- 2) 継続事項として 正会員・賛助会員の拡大、広報のあり方 (Face book の活用やデザインイベントの実施等) を考え、再構築していきます。

■ 主な活動計画

- 1) 4～6月 ・支部定例会の開催 (4月14日 ・ 6月9日)
・異業種交流、夕涼みBBQの計画
- 2) 7～9月 ・支部定例会の開催 (8月11日)
・夕涼みBBQの開催・・・(固定の交流イベントに定着しつつある の
で、引き続き開催していきます。)
・SODA (ワークショップ) の計画・・・(年度内に2回の開催を目標
としています。)
- 3) 10～12月 ・支部定例会の開催 (10月13日 ・ 12月8日)
・SODA (ワークショップ) の開催。
・トータルリビングショーへの共同参加
(前年同様、イベント来場者の子供達と お店のミニチュア模
型作り)
・デザイン人の「大忘年会」開催
(デザインに関係する個人・他団体との交流・コミュニケーションの場を。)
- 4) 1～3月 ・支部定例会の開催 (2月9日)
・SODA (ワークショップ) の開催。
・翌年度 4～6月期のイベント企画～立案 等

3. その他の会務に関する事項

(1) 功労賞表彰

平成27年度功労賞を以下の方に贈呈することを決定した。

特別功労賞受賞者

岩佐 達雄 会員

支部功労賞受賞者

山本 行洋 氏 (四国支部)

(2) 関係機関や団体との交流、その他の事業へ後援や協賛など

公益社団法人商業施設技術団体連合会や空間デザイン機構への運営参加、新規事業及び継続して行われる各事業の後援、協賛を通し積極的かつ実のある活動を目指す。